

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 27日

仕事の内容	災害見舞金支給事業				
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名 嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 社会保障の充実

(総合計画書 63 ページ)

予算名	3	民生費	5	災害救助費	1	災害救助費	1	災害見舞金支給事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 被災者またはその遺族				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 火災等災害により被災した世帯数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 被災者の経済的負担を軽減する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 見舞金支給世帯数/被災世帯数			
	③ そのために何をしましたか。 市内で発生した火災等災害により住居に被害を受けた者に対して、災害見舞金を支給する。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 見舞金を支給した世帯数			

2 指標の推移	対象指標	①の数値	単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	成果指標	②の数値	%	5	10	8		
	目 標	②の目標値	—	目標を設定する事業ではないと考えられることから設定はしない。				
	活動指標	③の数値	世帯	2	9	7		

3 経費	事業費(実績)		円	20,000	130,000	110,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	20,000	130,000	110,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	823,300	826,700	825,300	
事業費+人件費		円	843,300	956,700	935,300		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和三十八年の災害弔慰金の支給等に関する法律の制定を受け、昭和三十九年に東大和市災害弔慰金の支給等に関する条例及び施行規則が制定される。これらについては、大規模な自然災害による被災を想定していることから、その適用基準に達しない災害について補完するため、昭和三十九年に東大和市災害見舞金支給要綱を制定した。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 住宅については、耐火構造のものが増えており、住宅用火災警報器の設置が義務化されるなど、従前に比べ火災の延焼危険度は低下しているといえる。また、消火技術の向上が図られているが、住宅の高層化等、新たな課題も出てきている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 被害の程度が大きい場合には、被災者が当面身を寄せる場所の確保が必要となる。市では、被災者用に近隣の宿泊施設と協定を締結しているが、これまで利用された例はなく、現状は、公共施設を仮住まいとして提供するなどして対応している。 災害見舞金については、生活用品を揃えるなど、当面の生活資金として使用されている。
-------------	--

仕 事 の 内 容	災害見舞金支給事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)					
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
	(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。					
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。					
	平成29年度から、現金で行っていた見舞金の受け渡しを原則として口座振替で行うこととした。これにより、アポイントを取る必要がなくなったため、市・被災者双方の負担が軽減された。					
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。					
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
	成 果	成果を維持する。			経 費	仕事の経費は維持する。